

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	Tran ThiTuyetNhung	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
この演習では、ASEAN（東南アジア諸国連合）諸国の経済・社会・文化について考察する。下記の3つのパターンを想定し、感心のある国とテーマを自ら選び、報告・議論・体験の計画と実施を積極的に行う。1. ASEAN諸国のツアーガイドになってみよう。日本人旅行者向けツアーガイドになり、ASEAN諸国の情勢を紹介する。－各国の観光地、歴史、文化、宗教、経済、政治・社会情勢を紹介する。－各国の文化体験を行う。食文化体験（例：お茶・コーヒーの飲み比べ、料理の体験） 各国の映画、音楽、観光DVD、Youtube等の視聴 各国の展覧会、イベントの体験 －各国の観光ガイド資料作成（プレゼンテーション資料、動画作成等）2. 日本企業から派遣されるASEAN諸国駐在員になってみよう。日本企業の本社から派遣されるASEAN諸国駐在員になり、自分のビジネス分野・担当領域について赴任国の情報を調べる。赴任前の準備、赴任後の活動を計画する。3. 東南アジア経済研究者になってみよう。関心のある国と研究テーマを選び、報告レジメの作成、報告、議論を行う。例えば以下の点などを中心に研究を行う。●現在のASEAN諸国の経済成長の実態と要因分析 ●日本企業のASEANへの進出 ●日本とASEANとの経済関係 等

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習活動全般への積極的な参加、レポート作成のための準備、レポート作成・発表の活動が求められる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	演習の進め方、評価方法などについて	☐
第2回	ASEANとは(1)	経済協力と地域統合 ASEANに進出する日本企業	☐
第3回	ASEANとは(2)	ASEANメコン経済経路	☐
第4回	ASEAN諸国の経済・社会・文化 (1) タイ	電動自動車の生産の事例	☐
第5回	ASEAN諸国の経済・社会・文化 (2) ミャンマー	物流システムの改革の事例	☐
第6回	ASEAN諸国の経済・社会・文化 (3) カンボジア、ラオス	農業への投資	☐
第7回	ASEAN諸国の経済・社会・文化 (4) フィリピン	人材の魅力	☐
第8回	ASEAN諸国の経済・社会・文化 (5) ベトナム	サービス（旅行・ホテル）の魅力	☐
第9回	ASEAN諸国の経済・社会・文化 (6) インドネシア	水産ビジネスの事例	☐
第10回	ASEAN諸国の経済・社会・文化 (7) マレーシア	国境を越える経済圏の開発	☐
第11回	ASEAN諸国の経済・社会・文化 (8) シンガポール	スタートアップの事例	☐
第12回	ASEANのイノベーション	ASEAN各国におけるイノベーションを探す。	☐
第13回	ASEANにおける人材育成の戦略	ASEAN各国における人材育成の戦略を理解する	☐
第14回	期末レポート提出 発表会	レポート作成、発表資料作成、発表	☐
第15回	発表会 総括	発表 演習のまとめ	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)		
ASEAN諸国に関する文献を熟読し、発表資料をまとめておくこと。 ASEAN諸国の経済・社会・文化の体験を計画して実施すること。		

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)		
質問は授業中に随時受け付ける		

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	ASEAN諸国の経済・社会・文化について幅広い知識を学習する。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	世界経済におけるASEAN諸国の役割を理解する。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	演習テーマに対する文献調査、情報収集の能力を身に付ける。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		40%	50%	10%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 期末に発表会を行う。全員が個人研究のテーマについて発表する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の時点で相談して、中心となる教材を決定する。1年に1冊のテキストを読破する予定である。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	随時に紹介する。	
2		
3		
4		
5		